

# 吉田璋也の デザイン



新作民藝運動が  
めざした未来

2026.7.11<sup>Saturday</sup>  
— 9.27<sup>Sunday</sup>

The Designs of Yoshida Shoya



Imagining the Future with the New Mingei Movement

辰巳木工「曲木肘掛応接椅子（辰巳椅子）」1957年

— Imagining the Future with the New Mingei Movement

吉田璋也のデザイン—新作民藝運動がめざした未来 The Designs of Yoshida Shoya — Imagining the Future with the New Mingei Movement

## 展覧会概要

鳥取県出身の医師である吉田璋也（1898-1972）は、柳宗悦が提唱した民藝の思想に深く共鳴し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。自身を「民藝のプロデューサー」と称した吉田は、陶芸、木工、染織、金工など多岐にわたる分野で、地域の職人らと向き合いながら、現代の生活にふさわしい日用品を自ら指導・デザインしました。それらの生産、流通、販売、普及までを持続的な循環として確立し、また、鳥取砂丘など地元の自然や文化財保護活動に取り組むなど、広い視野と実験精神のもとに実践された吉田の活動は、民藝を通じた社会のデザインでもありました。

本展では、吉田の新作民藝運動の思想と実践の軌跡を、吉田の蒐集品、吉田が手掛けた新作民藝の数々、そして関連資料などを通じて紹介します。

## 展覧会情報

- 会場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーⅠ
- 会期：2026年7月11日（土）～9月27日（日）
- 休館日：月曜日（ただし、7月20日〔月・祝〕、9月21日〔月・祝〕は開館）、7月21日〔火〕、9月24日〔木〕
- 開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）
- 主催：岐阜県現代陶芸美術館、NHK岐阜放送局、NHKエンタープライズ中部
- 共催：中日新聞社
- 特別協力：鳥取民藝美術館
- 観覧料：一般 1,200円〔1,100円〕、大学生 1,000円〔900円〕、高校生以下および18歳未満は無料  
\*〔 〕内は20名以上の団体料金  
\*以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費（指定難病）受給者証・登録者証

## 展覧会紹介文サンプル

**50 字版** 「民藝のプロデューサー」吉田璋也が手がけた新作民藝や関連資料の数々から、新作民藝運動の軌跡を紹介。

**100 字版** 鳥取出身の医師で、民藝運動に生涯を捧げた吉田璋也は、地域の職人とともに現代の生活に合う日用品をデザインした。本展では、吉田が手がけた新作民藝、蒐集品や関連資料の数々から、思想と実践の軌跡を紹介。

**150 字版** 鳥取出身の医師・吉田璋也は、柳宗悦の民藝思想に深く共鳴し、民藝運動に生涯を捧げた。吉田は、地域の職人と協働して現代の暮らしに合う日用品を生み出した。生産から流通、普及までのサイクルを築き、自然や文化財保護にも尽力した。本展では、吉田の活動の軌跡を、新作民藝や関連資料によって辿る。

同 [ ギャラリーⅡA ]

美濃陶芸の系譜

・林正太郎展

2026年6月6日（土）～7月12日（日）

[ ギャラリーⅡB-D ]

・令和6(2024)年度新収蔵品展Ⅱ

・コレクション・ハイライト

2026年4月24日（金）～7月12日（日）

[ ギャラリーⅡ ]

・大地のこどもたち2026

2026年8月1日（土）～8月30日（日）

・受贈記念 ドレスデン ポルツェラン

2026年9月15日（土）～12月6日（日）

# 見どころ

## ◆ 社会へとまなざす、民藝のこころ ◆

医師でありながら、自ら民藝品をデザインし、生産・流通・販売の仕組みづくりまで手がけた、“民藝のプロデューサー”であった吉田璋也。自然保護や文化財保護にも取り組むなど、現代で言えば「まちづくり」や「ソーシャルデザイン」に通じる広がりを持つ、吉田の先駆的な実践に迫ります。

## ◆ いまの暮らしに取り入れたい、民藝がここに！ ◆

食器、ランプシェード、椅子、ネクタイ、パン切りナイフ、さらにはイカ墨インクやしゃぶしゃぶ用の鍋（！）まで、吉田璋也が関わった品々は、どれも現代の暮らしに自然と馴染むものばかりです。使い手への心配りと、作り手への敬意が感じられる、丁寧で美しいデザインの数々をご覧ください。

## ◆ 民藝ファン必見。吉田璋也、過去最大規模の展覧会 ◆

いま再び注目が高まる「民藝」。その重要人物でありながら、吉田璋也に焦点を当てた全国規模の展覧会は今回が初。作品・資料計297件を通じその足跡に迫ります。旧吉田医院と旧吉田邸の茶の間をイメージした2つの空間展示では、建築から家具、食器に至るまで、吉田の総合的なデザイン観を体感できます。

## 関連イベント

\* 聴講無料 \* 要事前申込

### 記念講演会

#### 「民藝をデザインするー吉田璋也の実験民藝学ー」

吉田璋也が新作民藝運動の実践を通じて示した「デザイン」概念、その思想的特徴と今日的意義についてお話いただきます。

講師：木谷清人氏（鳥取民藝美術館常務理事）

日時：7月11日（土）14:00～15:30

\* 要事前申込

### ワークショップ

#### 「スリップウェアでお皿をデザイン」

スリップウェアの技法にチャレンジ！オリジナルの模様をつくって、お皿をデザインしましょう。

日時：8月8日（土）13:30～15:30

会場：セラミックパーク MINO 作陶館

\* 要事前申込

### バスツアー

#### 「ウィリアム・モリスと吉田璋也 民藝をめぐる小旅行」

豊田市民芸館で開催される展覧会「アーツ・アンド・クラフツとデザイン、そして民藝」と吉田璋也展を学芸員の解説付きで鑑賞する、2館をめぐるバスツアーです。

日時：7月19日（日）10:00～16:30

JR 多治見駅・北口発着予定

\* 聴講無料 \* 要事前申込

### 対談

#### 「わたしたちの民藝とデザイン」

さまざまな立場から、今の感覚でとらえる「民藝」と「デザイン」、そしてそれらが重なる場所についてお話いただきます。

日時：9月12日（土）14:00～15:30

講師：朝倉圭一氏

（やわい屋店主・飛騨民芸協会理事）、

望月未来氏

（プロダクトデザイナー

愛知県立芸術大学 准教授）

\* 参加無料 \* 事前申込不要 \* 要観覧券（高校生以下無料）

### ギャラリートーク

担当学芸員が展示解説をおこないます。

日時：8月2日（日）

9月6日（日） 各日 14:00～

\* 参加無料 \* 事前申込不要

### こどもむかデー

美術館内にキッズルームを設置します。小さなお子さんのご来館をお待ちしています。

日時：8月22日（土）、8月23日（日）

この他にも、会期中さまざまなプログラムを予定しています。  
詳細や各イベントの申し込み方法については、当館ウェブサイトをご確認ください。

### 【お問い合わせ】

岐阜県現代陶芸美術館（展覧会担当：学芸部 林いづみ）

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパークMINO内）

TEL:0572-28-3100 FAX:0572-28-3101 E-mail:museum.1@cpm-gifu.jp HP:https://www.cpm-gifu.jp/museum/



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu



# 広報用写真申込書

読者プレゼントチケット（5組10名様分）を希望します。※希望される方はを入れてください。

『吉田璋也のデザイナー—新作民藝運動がめざした未来』の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、下記FAX番号またはメールアドレスまでお申し込みください。

ご希望の写真にを入れてください。



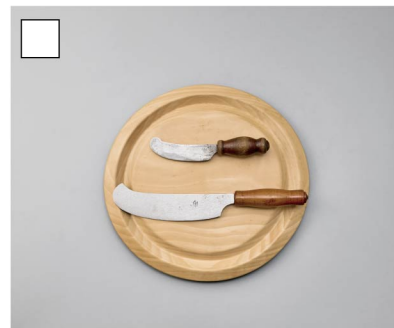
牛ノ戸焼「緑釉黒釉染分小皿」  
1931年 鳥取民藝美術館蔵



製作者不詳  
「竹ショルダーバッグ」  
1950年代前半 個人蔵



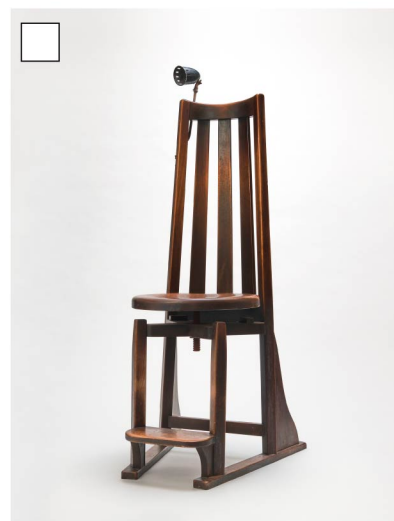
辰己木工  
「曲木肘掛応接椅子(民賞椅子)」  
1957年 鳥取民藝美術館蔵



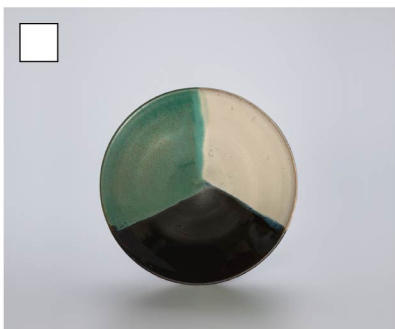
茗荷定治「パン切り台」  
蔵多宣夫「果物ナイフ」「パン切りナイフ」  
1950年代前半 鳥取民藝美術館蔵



向国安婦人会ほか  
「ににぐりネクタイ」  
1931年 鳥取民藝美術館蔵



製作者不詳  
「患者用診察椅子」  
1952年 個人蔵



牛ノ戸焼「緑釉白釉黒釉三方掛分皿」  
1957年 鳥取民藝美術館蔵

FAX : 0572-28-3101

Mail : museum.1@cpm-gifu.jp

展覧会担当 : 林

写真データ貸出 : 野田・廣澤

貴社名 (ご担当者)

ご住所 〒

お電話

FAX

E-mail

掲載媒体名

題目

掲載予定日

備考

○写真・画像のご使用は本展覧会をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

○使用される場合は、左記キャプション及びクレジットをご明記ください。

○デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段については原則としてメール送信(画像サイズは1点300~500KB程度)となります。

○大きなサイズの画像がご入用の場合は、担当までご連絡ください。

○ご掲載紙・誌を1部当館までご送付いただければ幸いに存じます。

展覧会担当 : 林

写真データ貸出 : 野田・廣澤



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801

岐阜県多治見市東町4-2-5

TEL : 0572-28-3100

FAX : 0572-28-3101